

# 採用実績

## ～生ごみ堆肥化ノウハウをデジタル化～

リサイクル率日本一を誇る鹿児島県大崎町※とオークネット・アイビーエス(以下:オークネットIBS)が協働で開始した「生ごみ堆肥化ノウハウ共有のための実証実験」において、堆肥化過程の温度管理に必要なデータを収集する温度センサデバイスとしてLeylineが採用されました。

Leylineが収集したデータは、オークネットIBSのIoTプラットフォームを通じてダッシュボードで見える化されるため、これまで属人的なタイミングで行っていた堆肥化過程の作業において、現場の負担軽減や作業の効率化が期待できます。

詳細は、大崎町SDGs推進協議会とオークネットIBSのプレスリリースでも取り上げられています。



※大崎町は、すべての資源がリユース・リサイクルされて循環する持続可能な社会のモデルとなる「サーキュラーヴィレッジ・大崎町」実現のため、家庭ごみの6割以上を占める生ごみや草木等の有機物を堆肥化しています。

PR TIMES

プレスリリースはこちら →

